

## 巻頭言

## 学会公式 Web サイトリニューアルについて



津田 宏

(社)人工知能学会広報委員長, (株)富士通研究所

将棋や囲碁, クイズから東大入試, さらにショートショート等々, 人工知能の話題がマスコミを賑わすようになってきた。こういう史上何回目かの AI ブームの兆しは逃さず, きっちり人工知能の楽しさや学会のプレゼンスを世間に伝え, あわよくば会員増を狙おう, というのが我々広報担当理事の使命である。

私事で恐縮だが, 広報といえば, 私は一時マスコミ向けに富士通の新技术を広報する仕事に携わっていたことがある。やってみて初めて知ったのだが, 広報は宣伝と違ってお金はほとんどかけず, 知恵と, 記者とのリレーションを使って情報を出していく仕事である。新技术を説明するには, 研究者目線の How 主体のメッセージだと記者や世間には伝わらない。高校生でもわかる内容で, What つまり何ができるようにするのか, を主体にしないと, など何度も教えられた。

こういう目線で学会からの情報発信を見てみると, どうも対個人会員, つまり研究者相手の情報が目立つ。しかし, 本学会のステークホルダは, ほかに賛助会員(企業)とか, マスコミとか, これから会員になろうとしている方, あるいは, 新聞記事を読んで大学で AI を勉強しようと思った受験生(何年後かは学生会員か), などあるはずである。ところが, 学会 Web サイトを見ても, そうしたニーズには答えられていない。例えば, 個人会員や賛助会員の入会案内も奥ゆかしく, いくつかリンクをたどらないと行き着けなかったりする。

ということで, 昨年度から理事会でも学会の顔といえる公式 Web サイト刷新の気運が高まってきた。皆様の要望を聞くと, 楽しく, わかりやすく, メンテもしやすく, ソーシャルインタラクションの仕組みも使い, あと「AIらしい」Web サイトに, と多岐にわたり, 正直どこから手をつけていいのかわからなかった。しかし, 今年度は予算も少しつけていただき, Web サイト改訂が広報委員の一大目標になってしまったので, もうやるしかない。ということで, 前委員長である大須賀昭彦氏(電通大)をはじめ, 森田武史氏(青学大), 中林寿文氏(サイバース), 有賀康頭氏(東芝)といった広報委員のコアメンバーと, 毎月南武線沿線で集まっては, 知恵を絞り, 悩みながら作業を進めている。

まず改良したいのはデザイン, 見た目である。現在のトップページは縦に長く, コンテンツがごちゃごちゃするうえに, 昨今のスマホなどでは見づらいので, すっきりしたデザインにしたいというのが一致した意見である。

ただ, 関係者だけだとなかなか良いアイデアが出てこない。全国大会の数日前の委員会で煮詰まってしまう, いっそのことダメ元で Web サイトデザインコンテストをやってみようと, 急拠チラシをつくって全国大会で配ったり告知してみた。

ところが, これが有難いことに, 思いのほか応募があったのである。どれも力作で, 皆さんの AI に対するイメージがいろいろあるのだなというならされた。委員会で議論を重ねたうえで, 山口大学大学院の酒井 藍さんの作品を優秀賞とすることにした。ここではロゴ回りの部分だけ紹介しよう。人の脳をモチーフにした, 愛らしい, 親しみやすい作品である。酒井さんおめでとうございます。

次にコンテンツ。まず twitter や Facebook, カレンダーなどのソーシャルなサービスとの連携は今や必須であろう。昨年の中研会でも, 全研究会の twitter タイムラインは壮観だった。学会の各種公式アカウントも作り, さらに, AI 関連ニュースなども紹介していきたい。ただ, いくらブームといっても, 世の中には「AI」と銘打っていても, 実際は無関係なものもあるようである。人工知能学会としては, 何でも垂れ流すのではなく, 正しい AI の情報を発信することに心掛けたい。さらに, この「人工知能学会誌」と Web との連携や, 皆様にもご協力いただき AI の研究室一覧の作成なども計画している。

さて, 新公式 Web サイトのお披露目は 11 月 15 日を予定している。中研会の初日でもあるので, 昨年に引き続き皆様には活発な tweet をお願いしたい。コンテンツは順次充実させていく予定である。公式 Web サイトを育てていくのは会員の皆様である。新しいコンテンツのアイデアや, Web サイト上でこんな実験をやってみたい(例えば LOD 化してデータをマッシュアップするなど)などあれば, ぜひご一報いただきたい。



図1 優秀賞ロゴ